

日本語英国教会ニュースレター
第 122 号 2021 年 2 月発行

共に祈り、共に歩む

日本聖公会東北教区主教
主教 ヨハネ 吉田 雅人



今から 10 年前の 3 月 11 日 (金) 午後 2 時 46 分、皆さんは何をしておられたでしょうか。

私の場合は、勤務していた (京都にある) ウィリアムス神学館の執務室にいましたが、地震が起きたことには全く気づいていませんでした。午後 4 時前頃だったでしょうか、神学館のコモンルームから「ウォーッ!!」という叫び声がしました。急いで階下に行ってみますと、テレビの画面には名取市閑上 (ゆりあげ) の浜を遡上する白い波と、その先の道を逃げていく自動車が映っていました。テレビ局のヘリコプターから撮った映像でしたが、津波の恐ろしさを感じると共に、「無事に逃げ切ってほしい」と、祈るような思いで固唾を呑んでいた自分、何も手助けのできないもどかしさを感じていた自分がいたことを憶えています。

※ 10 年、私たちの歩み ※

あれから 10 年の年月が過ぎました。その間、私たちは自らの復興と同時に、管区やご支援くださった多くの教区の

皆様がたと共に、「いっしょに歩こう！プロジェクト」、
「いっしょに歩こう！パートⅡ だいに・東北」の働きを
通して、四年間、被災者の方々や被災地の復興に、微力ながら
思いと力を注いできました。2015年からは「東北教区
東日本大震災支援室」、2019年からは「東北教区東日本
大震災被災者支援プロジェクト」と、若干名称や目的を変え
つつ歩んできました。

この間の私たちの歩みを支えてきたもの、私たちの歩みの
原動力となったものは、「私たちの隣りに苦しみ悩む人た
ちがいる限り、『共に祈り、共に歩む』ことが東北に遣わさ
れた教会の姿である」という確信だったと思います。

※ 共に祈ること ※

「祈り」は、祈るだけで終わるわけではありません。祈
りは「行動」への出発点でもあります。

祈りは4つの部分、①神への呼びかけ、②神の救いの御
業を述べる（感謝）、③祈願、④とりなし（結び）から成っ
ています。私たちは三番目の「祈願」の部分で、「私たちは
こうありたい、こうあってほしい」と願います。神様は私た
ちのこの願いを受け止めてくださり、私たちがそうあるよ
うに促し、勇気づけ、願いの実現に向けての第一歩を踏み出
させて下さるのです。

そして私たちは「共に祈る」ということを大切にしよう
としています。共に祈るためには心と思いを一つにすること
が求められます。

※ 共に歩むこと ※

私たちが大切にしようとしているもう一つの点は、「共
に歩む」ということです。私たちは各々、歩幅も違います
し、歩く速度も違います。

そんな私たちが「共に歩む」ためには、互いの歩き方や
速度、歩いていく方向を、互いに感じあい、気配り・目配り
しなければなりません。そうでなければ、一緒に歩いている

つもりで、いつの間にかバラバラになってしまうかもしれないのです。

では、誰に合わせればよいのでしょうか。やはりそれは共に歩んでいる中で、一番ゆっくりに人に合わせる事が大切ではないでしょうか。

※ もう一度原点に ※

大震災から10年の年月が過ぎました。私たちはこれからも「私たちの隣りに苦しみ悩む人がいる限り、『共に祈り、共に歩み』続けていきたい」と思います。それはまさに、ご復活の日の夕方、エルサレムからエマオへ失意のうちに歩いていたクレオパともう一人の弟子に近づき、一緒に歩いてくださったご復活のイエス様、パンを祝福して祈ってくださったイエス様に倣って歩むことではないでしょうか。

✝ どうぞ 吉田主教様はじめ東北教区につながる兄弟姉妹のお働きを覚えてお祈りください。巻頭の写真は福島県新地「祈りの庭」地震で被害を受けた磯山聖ヨハネ教会跡にあります。

◆◇◆ご報告 ◆◇◆

◆◇◆日本語 St Martin's 教会 ◆◇◆

2月21日 St Martin's 教会に午後3時からライブ配信で礼拝を捧げることができました。奏楽を遠藤さん、聖歌を珠美さんに歌っていただきました。遠方におられる方々にもメッセージを送ることができて感謝です。

<https://youtu.be/VXqZTDOVCeQ> 以下、説教の要約です。

大斎(レント)が2月17日から始まり、イエス様が荒野で40日を過ごしたことを覚えて自分の信仰と自分自身を振り返る期間が与えられています。マルコによる福音書1章9節から13節にイエス様の洗礼が記されています。天が裂けるといふ表現の中に神様の直接的な働きが顕されています。「聖

霊」がハトのように下って イエス様は神様の子であり、神様の御心にかなったものと宣言されています。その後、イエス様が聖霊によって荒野に追いやられます。身も心も危険な状況におかれながらも、神様によって守られているイエス様の姿があります。今も続行しているロックダウン中、私たちは孤独、寂しさや恐れを感じ、嘆きます。その中、イエス様の生涯を通して示された神様の **Unconditional love** 無条件の愛が私達にも注がれていることを覚えたいと思います。神様の愛は何事にも勝り、神様の絶大な愛に包まれていることが分かる時、確信した時、私達の悲しみ、苦しみ、恐れに神様の癒しと慰め、必要なものは与えられます。ペテロの第一の手紙3章18節に「キリストも罪のためにただ一度苦しみました。正しい方が正しくない者たちのために苦しまれたのです。あなたがたを神のもとへ導くためです。」このレントの間、ご一緒に私達自身を振り返りましょう。そして、神様のもとへ導かれるよう共に祈り続けましょう。イエス様を導いた神様のみ力 聖霊の導きが私達それぞれに与えられますよう。

◆◆◆ オンライン 聖書の学び ◆◆◆

2月11日、ルカによる福音書6章17節から26節から学びました。いつも通り、他の福音書の記述と比べながら見てみました。マタイの福音書5章から7章は「山上の垂訓」"The sermon on the mount" に対して、ルカの福音書6章20節から49節は俗に「平地の説教」"The sermon on the plain"とされています。ルカでは特に弟子たちに呼びかけているように記述されています。彼らは貧しく、空腹で、またこの世では尊ばれない人々に向かつての説教とも解釈されています。

ルカ6章22節-23節「人々に憎まれるとき、また、人の子のために追いつき出され、ののしられ、汚名を着せられるとき、あなたがたは幸いである。その日には喜び踊りなさいー」個人的な視点ですが、この部分は迫害を受けた長崎の

殉教者たちが処刑の間も歌っていたという話しを思い出させます。

◆◇◆オンラインコミュニティカフェ◆◇◆

2月6日午前10時から12時まで行いました。今回も、それぞれの独奏や独唱を楽しみました。また沖縄の三線について、大変学び多いお話を伺うことができました。今回、最近日本へ転居した方、日本から帰国できないでいる方、間もなく英国を離れる方が参加されました。プログラムが終わった後短い時間ではありましたが、居残った方々と思いを分かち合い、おしゃべりタイムももちました。それぞれ困難な事柄を抱えていますが、乗り越えていけますよう祈っています。

◆◇◆今後の予定◆◇◆

- **2月28日 朝8時半、(日本時間午後5時半)オンライン オルガンの調べと共に迎える朝**、講師に菊池泰子さんを迎えて、短い時間ではありますが、教会音楽について少しづつ伺っています。加えて、オルガンの演奏を聞けるという贅沢な日曜の朝のプログラムです。お気軽にご参加ください。英国側は朝食持ち込み歓迎です。
- 3月のコミュニティカフェはお休みです。
- **3月6日 午後3時半 東日本大震災10周年追悼礼拝** 記念すべき追悼礼拝となりますが、現在のロックダウンとコロナ感染事情を鑑みて、会衆なしのオンライン配信となります。リンクは当日前にお知らせしますが、ご友人や知人の方々には事前登録をお願いしています。登録によってリンクのお知らせがいくようになっていきます。録画として残りますので、後日ご都合の良い時に、見ることはできます。多くの方々が今までの追悼礼拝に関わり、支援して下さりながら、ご一緒に集まれないのが非常に残念ですが、祈りを通して共に追悼をささげることができるよう祈っています。

- 3月11日(木曜日) 東日本大震災 10周年追悼 Vigil
午前10時から午後3時まで St Martin's 教会にて Private Prayer の為に参加します。まだロックダウン中ですから、集団でかたまることなく、ガイドラインに沿ってご来場できる方はどうぞ、いらしてください。
- 3月17日(水曜日)午後8時から オンラインで、ルカによる福音書を学びます。いつもですと、第二の週ですが、上記の Vigil がありますので、第三の週になっております。
- 3月21日(日曜日)午後3時から 日本語礼拝— 現時点ではオンラインになる可能性があります、状況によって変更ありますので、後日お知らせします。

◆◆◆Yuki から◆◆◆

St Martin's 教会と近隣の教会共同による The Bible Course (Bible Society) が始まりました。15分間の Video を見ながら、ディスカッションがあります。分かりやすい説明で興味深い学びがあります。Video には元ドラッグディーラーで刑務所にいた方が聖書に出会った感動的な話も紹介されました。ご興味ある方があれば、別途、英語の Video で日本語ディスカッションといった形のプログラムも可能かなと思っています。聖書は「図書館」と良く呼ばれていますが、珠玉の学びが一杯詰まっています。その中から神様の愛をご一緒に発見できるといいなあと思っています。

Yuki Johnson

Licensed Lay Minister Japanese Anglican Church St Martin's West Acton
Lay Chaplain for Japanese Community St Michael & All Angels Mill Hill
Reader Diocese of Worcester

問い合わせは yukifunakawa@btinternet.com

日本語英国教会のブログ <http://blog.goo.ne.jp/jacuk>

ホームページ <http://shutotomoni.wixsite.com/jesus>